

2026年

4月

瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum



催物案内

瀬戸のやきものづくりの総合ミュージアム。
やきもののみ瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)



中央通りギャラリー 「天草のやきもの」

瀬戸蔵ミュージアム企画展

熊本県の南西部に位置する天草市は、3つの海に囲まれ、青い海や緑深い山々など豊かな自然に恵まれています。陶石だけではなく陶土にも恵まれ、17世紀頃から陶磁器が生産されてきました。現在もひとつのスタイルにとらわれることなく、それぞれの窯元で、その特徴を活かしたやきものづくりが行われています。また、瀬戸の磁祖である加藤民吉が磁器技術の修業を行なった地であるという歴史的なつながりもあります。

本展では、天草陶磁器の島づくり協議会加盟の窯元12軒で制作された作品を展示します。陶器そして磁器の様々なジャンルの作品を展示し、「現在の天草のやきもの」を紹介します。



高浜焼寿芳窯

6月14日(日)まで

企画展示室 「新出土品展—日進市・長久手市・尾張旭市の窯跡調査の記録—」

瀬戸蔵ミュージアム企画展

(公財)瀬戸市文化振興財団が日進市、長久手市(旧長久手町)、尾張旭市での窯跡調査に関わる成果を基に、埴輪・須恵器をはじめ山茶碗焼成窯に伴う壺・甕類などから瀬戸窯では認められない事例を紹介するものです。

今回展示する出土資料は、「瀬戸焼 1000年の歴史」を解明する上でその礎となる所見も含まれており、「瀬戸焼」誕生に影響を与えた古代・中世猿投窯における生産内容の一端をご覧いただける内容となっています。



三耳壺

NN-G-48号窯跡出土

鎌倉時代(12世紀後半~13世紀初頭)

日進市教育委員会蔵

6月28日(日)まで



開館時間：9：00～17：00(入館は16：30まで)

入館料：一般：520円、65歳以上・高校生・大学生：310円

中学生以下・妊婦・障害者手帳(ミライロID可)をお持ちの方：無料

年間パスポート：一般1570円、65歳以上・高大生940円

4月27日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190

